

バイOMETRICS認証を用いた 新たなキャッシュレス決済システム

山本 大輔

【要旨】

本稿では現状のキャッシュレス決済システムには、課題があるということを認識し、現状の課題を克服し、利便性の高いキャッシュレス決済システムの在り方について研究を行う。現状の課題で、高齢者を中心としたデジタルデバイスによって、使用方法が難化していることである。そして、セキュリティ面で、不安が残ることである。

キャッシュレス化を促進するために、現状のキャッシュレス決済システムを超えるバイOMETRICS認証を用いたキャッシュレス決済システムを提唱する。バイOMETRICS認証を用いることで、携帯端末やクレジットカードを持ち合わせずに決済を完了することができ、自らの生体認証を用いるため、セキュリティ上の課題にもアプローチできる。

このシステムによって、キャッシュレス化を進め、安心安全な決済手段によって、キャッシュレス決済比率を高め、日本経済の活発化を導くと主張する。

【講評】

本論文は、キャッシュレス決済に関するわが国の問題点を明らかにし、その問題解決方法の1つとされる、バイオメトリクス認証を取り上げている。本論文は、わが国における現状の問題点として、デジタルデバイスによる使用方法の困難性とセキュリティへの不安を、文献を丁寧に咀嚼した上で指摘している点が評価できる。

なお、以下の点を改善すれば、さらに良い論文となったであろう。

- (1) 専門的な学術雑誌や書籍を利用する。
- (2) 生体認証を前提としたポイントプログラムをさらに検討する。
- (3) 自分自身で生体認証を体験し、有用性や諸課題を明らかにする。

以上